

公開シンポジウム

多世代で創る

サステイナブルな地域

—わたしたちにできること



入場無料

定員**250名**

※定員になり次第
締め切らせて
いただきます。

地域の持続可能性が危ぶまれる中で、国や自治体では経済活性化を中心に様々な取り組みが進められています。それらを一過性の取り組みに終わらせないために、何ができるでしょうか？

JST社会技術研究開発センターでは、平成26年度より“多世代共創”という方法論で持続可能な地域づくりに取り組む16の研究開発プロジェクトを推進してきました。本シンポジウムでは国連で採択され注目を集めている持続可能な開発目標 (SDGs) や地域の創生に関する動向とともに、実際に地域で多様なステークホルダーと協働するプロジェクトを紹介します。

日時

平成29年3月6日月

13:00~17:30

会場

時事通信ホール

東京都中央区銀座

主催

国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST)

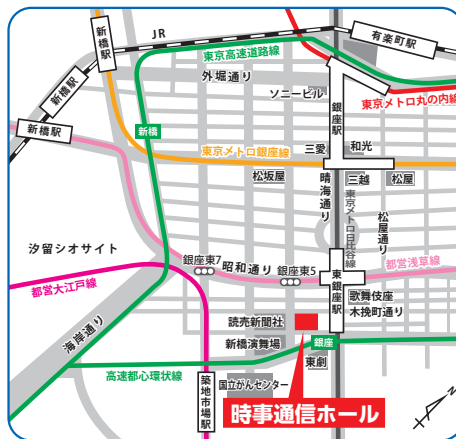
社会技術研究開発センター (RISTEX)

「持続可能な多世代共創社会のデザイン」研究開発領域

後援

内閣府地方創生推進事務局、

国連大学サステイナビリティ高等研究所、文部科学省



東銀座駅徒歩1分

プログラム

▶ イントロダクション

13:00~13:05 開会挨拶

13:05~13:15 領域およびシンポジウムについて

大守 隆 (領域総括/元 内閣府 政策参与・元 大阪大学 教授)

▶ セッション1

13:15~13:45 講演1「SDGs達成に向けた取組最前線」(仮題)

竹本 和彦 (国連大学サステイナビリティ高等研究所 所長)

13:45~14:15 講演2「地方創生と多世代共創」

和泉 洋人 (内閣総理大臣補佐官)

▶ セッション2

14:15~14:40 講演「世代間連鎖のなかの〈今〉、地球社会の中の〈ここ〉」

岡部 明子 (領域アドバイザー/東京大学大学院新領域創成科学研究科 教授)

14:40~14:55 プロジェクト発表1

「分散型水管理を通じた、風かおり、緑かがやく、あまみず社会の構築」

14:55~15:10 プロジェクト発表2

「未病に取り組む多世代共創コミュニティの形成と有効性検証」

15:10~15:15 プロジェクト発表3

「未来の暮らし方を育む泉の創造」

15:15~15:25 休憩

15:25~15:55 90歳ヒアリング落語「コウノトリの日記」

桂 三四郎 (落語家)

▶ セッション3

15:55~17:00 ポスターセッション(16プロジェクト)

17:00~17:30 提案・相談会

提案・相談会開催

皆様の参加をお待ちしております

- * 世代を超えて、多様な人々の参加を得て地域づくりに取り組みたい自治体等のの方々
- * 社会的課題解決に取り組みたい企業やNPO等のの方々

お問い合わせ先

「持続可能な多世代共創社会のデザイン」
研究開発領域担当

i-gene.info@jst.go.jp

WEBサイト(申込み)

<https://www.ourfutures.net/sessions/2278>



国立研究開発法人
科学技術振興機構
Japan Science and Technology Agency



社会技術研究開発センター
Research Institute of Science and Technology for Society